

穂高幼稚園 「み～つけた！」

まるやまあやこさんの講演会を経て、少しずつ木が増えていき、幼稚園が“樹齢70年の森”へと変わっていきました。バーベキューをしたり、お茶屋さんがあったり、街があったり…森の住民たちの手によって楽しい遊び場のような森へと大変身！それぞれのクラスにシンボルツリーがあり、クラスの垣根を越えていろいろな友達とかかわり、一緒に遊ぶことを楽しみました。

そして、そんな楽しい森にて、“ねっこまつり”を開き、保護者の方々を招待して、森の住民たちの暮らし・遊びを体験していただくこともできました。

いらっしやいませ～
何がいいですか？



絵本をもって導かれた先は、
みんなで作ったおうち。
子どもたちの集いの空間になりました。



この木の家が落ち着くなあ



どんな街にしようかな…
どんな車にしようかな…
自分の思いも伝えながら友達と一緒に
作ったり遊んだりしています。



どこに行っても、誰とでも遊べる
という安心感の中で…
自然につながる異年齢



ジュースと甘いお菓子
もつくろう！



年長の部屋から続いたこの線路は長～くつなげて、
樹齢70年の木があるプレイルームまで続きました。



お茶の先生みたいになり
たい！
小さい子たちにもお茶
を点てよう！



柿の木、フルーツの木、リンゴの木…各クラスに植えられたシンボルツリー。”みんなちがってみんないい“
そんな生き生きとした木々でした。



樹齢70年の木の周りには、畑や滝、キャンプ場など、子どもたちと一緒に作っていきました。畑で収穫した野菜をマルシェで販売していたり、川で釣った魚を焚火で焼いたり…異年齢で同じ場所を囲む、教え合う、自然にかかわりが生まれるみんなの遊び場になりました。



魚釣れるかな～？



にんじんってこんな感じかなあ…

私たちの背より大きい！
樹齢70年の木の大きさを
全身で感じました。

畑でとれたたてのお野菜、
いかがですか～？



川に入ってあ～そぼ！
あっ、つめたい！



いらっしやいませ！
おいもがおすすめで～す！

